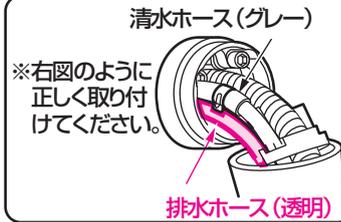


TOTO ハンドシャワー部の取付け

施工業者のみなさまへ！
必ずお読みいただき！、必ず実行してください！

この施工注意札はメンテナンス時に必要です。
施工完了後は、じゃまにならない所に結び付けてください。

施工説明書「施工方法・ハンドシャワー部の取付け」
の施工時は、裏面の施工方法にご注意ください。



⚠ 注意

必ず実行 排水ホースの組み込み時、清水ホースとの逆組みに注意して、折れ曲がったりつぶれたりしないように正しく挿入してください。折れ曲がったり、つぶれたりするとホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、アルカリイオン水生成器の故障のおそれがあります。



①ホース位置の確認

3本のホースを清水ホース(グレー)の**クリップ**までほぼ**挿入したところ**で、取付金具正面から見て、**3本のホースが右図の位置**になっているか確認、調整する。



②ホースガイドの差込み

取付金具の形状に合わせて、ホースガイド(白)を差し込む。



③ホースの差込み

排水ホース(透明)が折れ曲がったり、つぶれたりしないように、慎重にホースガイド(白)に差し込む。

※差し込みにくい時は、ホースに水などをつけると差し込みやすくなります。



04827R

裏面もご覧ください

⚠ 注意



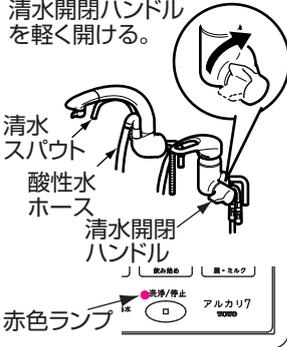
必ず実行

排水ホースの折れ曲がりや膨れなどを発見した場合、施工をやり直してください。

すべての取り付けが完了した後、下記点検項目に従ってアルカリイオン水生成器を全排水モードにして水を流しながら、排水ホースの折れ曲がりやつぶれなどを確認してください。

ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、アルカリイオン水生成器の故障のおそれがあります。



	実施項目	確認項目	備考
1	ホースの折れ曲がり、つぶれの確認	各ホースに折れ曲がりやつぶれがないことを確認する。	折れ曲がったり、つぶれがある場合は施工をやり直す。
2	電源を入れる。	アルカリイオン水生成器に電源を入れる。	—
3	吐水モードの確認 清水開閉ハンドルを軽く開ける。 	①吐水モードを確認後、清水開閉ハンドルを開める。 全排水モード の場合4へ それ以外の場合は②へ ②洗浄・停止ボタンを5秒間押し、加熱洗浄モードにする。(赤色ランプ点灯) ③洗浄・停止ボタンをもう一度押し、加熱洗浄モードを解除する。(赤色ランプ消灯) ④清水開閉ハンドルを開き、水を出して全排水モードであることを確認する。 ⑤清水開閉ハンドルを閉める。	全排水モード とは 酸性水ホースのみから水が流れ出ている(清水スパウトから水が出ていない)状態です。 全排水モードでないとき次の確認ができないため、確実に実施ください。
4	排水ホースの確認 清水開閉ハンドルを全開にする。 	排水ホースに膨らみがないことを確認する。 	膨らみを確認する時は断熱材を外してください。 膨らみがあった場合は、表面の「①ホース位置の確認」から施工をやり直す。
5	動作確認と漏水確認	アルカリモード、清水モードで各部から漏水がないことを確認する。	漏水があった場合は施工をやり直す。